

ねりま 区報

Nerima

★ 11/21 令和7年
(2025年)

第2098号 毎月1日・11日・21日発行

発行/練馬区 編集/広聴広報課
〒176-8501 豊玉北6-12-1
☎03-3993-1111(代表)
FAX 03-3993-1194
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/>

粗大ごみの申し込みはお早めに

ごー なな まる さん ご み きゅつ きゅつ

5703-5399

年末に向けて申し込みが大幅に増えるため、年内に収集・持ち込みができる場合があります。区HPからも申し込みます。



日常の家事を仕事に ／訪問介護で人を支える

訪問介護は、介護が必要な高齢者の在宅での暮らしを支援するサービスです。今回、掃除・洗濯、買い物代行、調理などの家事を援助する訪問介護員（訪問ヘルパー）に、仕事のやりがいや介護職の魅力についてインタビューしました。問高齢社会対策課計画係 5984-4584 FAX 5984-1214



訪問ヘルパー／宮澤佐智子さん

詳しくは2・3面へ

人は何の為に仕事をするのでしょうか。多くの志ある公務員は、立身出世ではなく、国民全体の為に優れた仕事をする事、それ自体を生き甲斐としています。私も、自分の歴史観と良心だけに従って仕事をしました。どんなに苦労が多くとも、必ず誰かが見ていてくれる。そう信じていました。士は己を知る者の為に死す。上司・同僚、議員さん達と一緒に死んだからこそ生涯、存分に仕事が出来たのです。今回の来訪は、魂に響く、嬉しい驚きでした。引き続き我が練馬区の職員と一緒に全力を尽くそう。心に誓っています。

練馬区長 前川耀男

先月末、東京都と国土交通省の幹部が私を訪ねて見えました。都が住宅政策を見直す事になり、現行体系を構築した私は直接この身で担当ましたが、重要な契機となつたのが住宅政策でした。バブルで住宅政策懇談会を設置し、初めて国から部長を招き私が下に付きました。カプセルホテルに泊まって作業し、私一人で報告を書き上げました。若い私が初めて全力投球した忘れられない仕事です。

その後は、次から次に大課題を命じられました。バブル崩壊で頓挫した臨海副都心開発の再開、空前の財政難を切り抜けた都政史上初めての職員給与削減、バラマキの見直しと認証保育所など新規施策を組み合わせた福祉改革。中でも最も苦労したのは、初めて東京一極集中を、日本を牽引するエンジンと位置付けた、積極的な政策展開でした。東京への投資の再集中、羽田空港の国際化、外郭環状道路の再着工など死力を尽くしました。



5階の窓から